

07/14・フェイスブック個人情報不正流用に5400億円制裁金

米、個人情報保護を重視 規制強化、経営リスクに 反トラスト法違反調査も開始

07/15・「反リブラ」で包囲網 米議会、トランプ氏、FRB 批判次々

07/16・中国6.2%成長に減速(4-6月) 92年以降最低 貿易戦争が影 < 1 >

製造業の不振鮮明 外資は海外移転 景気対策効果薄く 財政赤字、過去最大に

07/17・IMF報告書が警告 「リブラ」などデジタル通貨 金融政策機能失う恐れ

・フェイスブック「承認まで提供せず」表明 米議会公聴会で協力姿勢

・中国の米国債保有残高(5月)3カ月連続減 日本と首位逆転も < 2 >

中国「脱ドル」じわり 米国債減らし、金積み増し

・トランプ氏「国に帰れ」発言 米下院が非難決議

07/18・G7、リブラ規制「早急に」 財務相一致 枠組み検討着手

・韓国企業、代替材料を検討 半導体向け 日本も長期的リスク

・輸出7カ月連続減 6月6.7% 中国向け10%減る

・韓国、3年ぶり利下げ 年1.5% 景気減速で危機感

07/19・米、イラン無人機撃墜 ホルムズ海峡 警告無視と説明

・米國務長官、中国のウイグル族拘束非難「最悪の人権危機」

07/20・対韓規制、中国に飛び火も 世界的減産の可能性 < 3 >

・イラン、英タンカー拿捕 ホルムズ海峡 英「全く容認できぬ」

米軍、サウジ駐留再開へ 有志連合に協力求める

07/22・参院選 与党が改選過半数 改憲勢力は3分の2割れ

07/23・安倍首相会見 改憲論議「柔軟に」自民案にとらわれず < 4 >

・日米、有志連合で協議 ボルトン氏、外相・防衛相と会談

07/24・英、ジョンソン首相誕生へ 与党党首選 「合意なき離脱」高まる

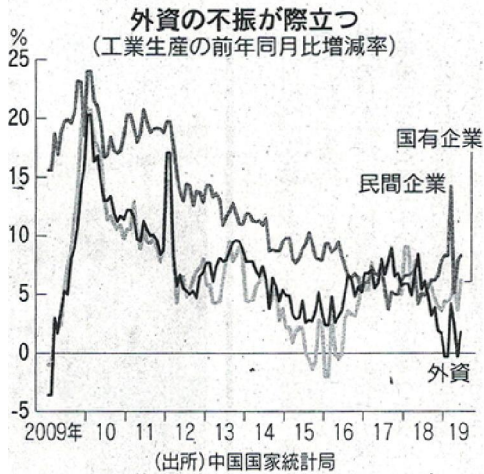
「民主主義のモデル」凋落

・米財政赤字1兆ドル超へ 債務上限引き上げ 政府・与野党が合意 < 5 >

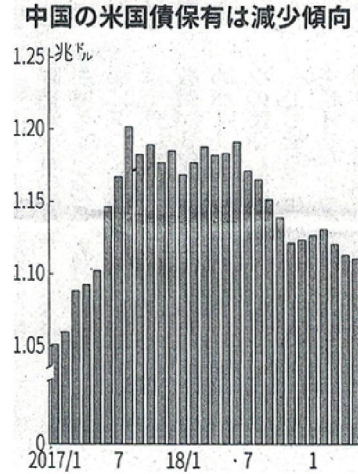
・輸出規制巡りWTOで議論へ 日本、安保の正当性が焦点 < 6 >

・韓国、竹島で警告射撃 「ロシアが領空侵犯」 日本、韓口に抗議

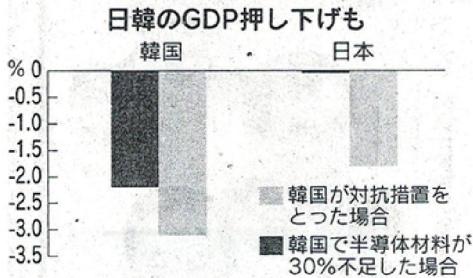
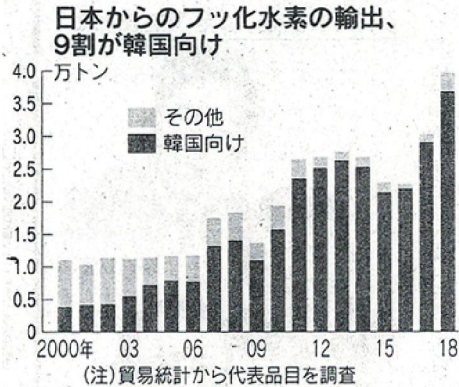
< 1 >



< 2 >



< 3 >



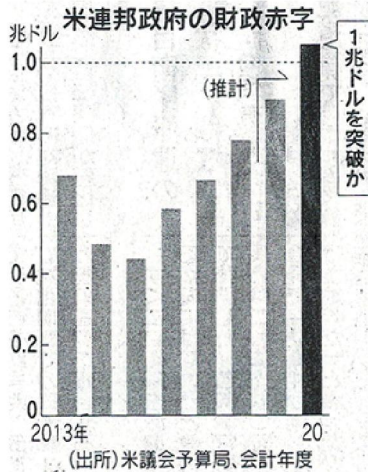
(注) 韓国経済研究院の試算

< 4 >

記者会見の主なポイント

- 憲法改正は「議論する」のが国民の審判。自民案にとらわれず、景気の下振れリスクには機動的かつ万全の対策を講じる
- 在職年齢年金のあり方を見直す
- 内閣改造・党役員人事は全くの白紙
- 次期衆院選はあらゆる選択肢を排除せず、イラン情勢では緊張緩和に向けてまずはできる努力をする
- 有志連合への対応では米国の考えを詳細に詰める

< 5 >



< 6 >

輸出規制を巡る日韓の主張は対立している

日本	韓国
<ul style="list-style-type: none"> ○ あくまで安全保障上の見直しであり、各国の判断に任されている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別な理由なく加盟国間の輸出入数量を制限することを禁じたGATT11条などに違反している
<ul style="list-style-type: none"> ○ GATT21条の「安全保障上の例外規定」に該当するため、WTO違反との指摘はあたらない 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本はホワイト国指定の解除など優遇措置の撤回理由を説明し切れていない
<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓国の輸出管理体制は脆弱で、政策対話も何度もキャンセルされ実現しなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓国は十分な管理体制を築いており、政策対話は今年3月以降の開催で合意していた